タイトル：大学と地域の連携に関する研究

英文タイトル：Study of Collaboration between University and Local Community

原稿の種類：論文・資料・依頼論文　　※該当のもの以外を削除してください

著者： 著者一郎1，著者次郎2，著者三郎3

Ichiro Chosha1，Jiro Chosha2，Saburo Chosha3

所属： 1 世田谷大学地域連携学科/ Faculty of Local Collaboration, Setagaya University

2 杉並大学大学院人文科学研究科/ School of Local Collaboration, University of Suginami

3 調布大学観光学部/ Faculty of Sightseeing, Chofu University

責任著者：著者一郎

世田谷大学地域連携学部

東京都世田谷区世田谷1-1-1

E-mail: [ichiro.chosha@setagaya-u.ac.jp](mailto:ichiro.chosha@setagaya-u.ac.jp)

Tel: 03-1234-5678

※赤字で注意事項を記載してあるので，投稿前に削除すること。

Abstract

※ここに抄録を記載する。英文250ワード以内。

※資料の場合はこのページを削除してください。

Keywords：

キーワード：

タイトル：大学と地域の連携に関する研究

1. 緒言　※章や節のタイトルに指定はありません。

　少子高齢化をむかえるなかで，大学あり方も変化せざるを得ない状況にある（東京・千葉，2020）。大学は，第一義的に「学生」のために存在しているが，・・・・．大学地域連携学会（2022）は，・・・・と述べている。

　本研究の目的は，・・・であった。

2. 方法

2.1. 対象者

　本研究の対象者は，・・・。

2.2.

2.2.1.

2.3.

3．結果

　図1には○○を示した。

<図1　挿入>

※図や表を挿入する位置を示す

4. 考察

5. 結論

謝辞

利益相反

参考文献　※著者名のアルファベット順に並べる

大学地域連携学会（2022, March 5）大学地域連携学会　会則．Retrieved August 1, 2023, from https://reg-coop.org/constitution/

東京一郎・千葉次郎（2020）日本国内の大学と地域の連携に関する研究．大学地域連携学研究，1(2):13–18．

＊図表は別にまとめる。